

宇城市伝統文化芸能まつり

「地域に生まれ、地域で育ち、受け継がれる心」

市民が生活していく中で生まれた伝統・芸能を将来にわたって継承し、後世に伝えていきたい——そのような思いを込め、市では六月議会において、『伝統文化継承条例』を全国に先駆けて制定しました。

市には、数多くの伝統芸能が存在し語り継がれています。が、時の流れの中、これを受け継ぐ人が居ない、音楽や踊りを覚えていない人が居ないなどの理由で、郷土の伝統芸能が惜しくも消え去ろうとしています。

そのような中、現在継承されているものだけでも後世に伝え、日本民族の昔から伝えられた文化・芸能というのが永遠に続き、親から子へ、子から孫へと伝わることで、心豊かに、郷土の誇りを持って過ごしていけるように、今回、宇城市伝統文化芸能まつりを開催しました。

18 団体による華麗な、そして勇壮な演舞・演奏の数々を写真で再現します。
(順不同)



↑ 小川阿蘇神社獅子舞 (小川町)



↑ 松合雅楽保存会 (不知火町)



↑ 豊野神楽保存会 (豊野町)



↓ 船津潟切保存会 (三角町)



← 小川阿蘇神社とこせい (小川町)



→ 栄町の獅子舞と牡丹引き (松橋町)



← 三番叟 (三角町)



↑ 宮川虎舞保存会 (豊野町)



↑ 古保山稚児神楽保存会 (松橋町)

演舞に沸き立つ 超満員の会場

10月30日に松橋町のウイングまつばせ(文化ホール)で開催された、宇城市伝統文化芸能まつり。当日の会場は満員で立ち見も出るほどの盛会でした。

オープニングでは、全国高等学校総合文化祭で郷土芸能部門最優秀賞を受賞した秀岳館高校雅太鼓部が、特別出演し、素晴らしい演奏を披露。その後、市内各地に伝わる郷土芸能を18団体が、伝承される逸話を紹介しながら披露しました。

失われた技術を掘り起こし、現代風を取り入れながら一生懸命に練習を重ね、厳正な中にユーモアを含ませた演技に、観客席からは惜しみない拍手・喝采がすべての団体に送られました。

市では、この伝統芸能を守り引き継いでいただく方々の努力に感謝し、器材に対する支援などを行ない、地域に残る伝統芸能を守り続けていきたいと思っています。



← 本村雨乞い太鼓 (三角町)



→ 東松崎底井樋太鼓踊り保存会 (松橋町)



↑ 松崎おろろんべ (不知火町)



↑ 北小野おろろんべ (小川町)



→ 下本庄雨乞踊保存会 (三角町)



→ 永尾ちよぼくれ (不知火町)



← 内潟龍神太鼓 (三角町)



← 豊年もちつき踊り (松橋町)



← 仲町の茶わん鉢 (松橋町)